

をとめ
少女たち
あぐち
開口の神の樟の木くすの

わかえ
若枝
さすごと
のびて
行けかし

歌
意

故郷の少女たちよ、あの開口神社の樟の大木から若い枝が
すこやかに伸びていくように成長してほしいものです。

初出「婦人公論」昭和11（1936）年6月号（晶子58歳）



- ・所在地 開口神社境内（堺区甲斐町東2丁目1-29）
- ・建 立 平成28年5月29日 堺観光ボランティア協会 有志一同
- ・連絡先 NPO法人堺観光ボランティア協会 072-233-0531

堺観光ボランティア協会の設立20周年を記念し、地元では「大寺さん」として昔から親しまれている開口神社の境内に建立された。

歌碑は晶子の母校である大阪府立泉陽高等学校発祥の地を示す石碑の右隣に位置し、微笑む晶子の顔が彫られている。

晶子は「私の生ひ立ち」で、「私等が実を拾つて遊ぶ廻り二三丈もある開口神社の大木の樟が塔よりも高く見えます。」と書いているが、幼い頃に遊び場所であった開口神社の樟の大木も三重塔も戦災で焼失した。